

投資事業評価調書 (新規)

課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課 高崎 伸彦 (寅屋 雅昭)	内線	4440 (4450)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	港湾事業	事業名	事業区間	総事業費	約14億円
		港湾改修事業 特定重要港湾姫路港	姫路市飾磨区構～須加		

所在地			着工予定 年 度	完成予定 年 度
姫路市飾磨区構～須加			H14	H16

事業目的	事業内容
兵庫県地域防災計画に基づき、須加地区の既存岸壁の耐震改良を行い、災害に強い港湾づくりを目指す。  *兵庫県地域防災計画の位置づけ 緊急輸送体制の整備 手柄山中央公園・・・広域輸送拠点 須加地区・・・・・・海上アクセス 交通輸送対策の実施 耐震強化岸壁 姫路港須加地区岸壁(-10m) 1バース	既存施設の耐震強化 岸壁(-10m) 1バース L=170m

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定重要港湾姫路港において、未だ耐震岸壁が整備されていない。</li> <li>耐震改良対象施設 岸壁・・・昭和40年完成。現設計基準で見直すと、地震時に滑動等の安全率が不足する。</li> <li>災害時における災害応急活動に必要な物資、資機材、要員等の緊急輸送体制の整備のために必要である。</li> </ul>
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用便益分析比 B / C = 1.6</li> <li>施設の耐震強化を図ることにより震災時に損壊を免れることができ、緊急物資の取扱いが可能となり、県民生活の安定に寄与することが出来る。</li> <li>震災後の復旧期間中の通常貨物等の輸送コスト増大を回避出来る。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設を改良するものであり、新たな施設を整備するより経済的である。</li> <li>岸壁改良により発生する残土等は、広畑地区の埋立用材として有効利用する。</li> </ul>
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設を生かした改良であり、建設副産物や水質汚濁等の発生も少なく環境に与える負荷が小さい。</li> </ul>
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>姫路地域には耐震強化岸壁が整備されておらず、地域の安全・安心の確保のため早急に整備する必要がある。</li> </ul>

評価の結果	左の理由